



事務局だより

5月号



『SC』はシルバー人材センター、『県シ連』は鹿児島県シルバー人材センター連合会、『全シ協』は全国シルバー人材センター事業協議会
『高齢法』は 高齢者等の雇用の安定等に関する法律の略です。 ☎ 0996-52-3363

“早苗月” いよいよ始動開始です！

コロナに負けるな！



新緑の候、皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、新型コロナウイルス特措法に基づく 緊急事態宣言の期間が延長されてのゴールデンウィークでしたが、会員並びに関係者の皆様にはいかがお過ごしだったでしょうか。不要不急の外出自粛の中、かつての日常の尊さが身にしみて感じられたのではないのでしょうか。

さて、緊急事態といえども時間が止まらない限り、すべてを止めるという訳にもいきません。町民及び事業所等の皆様から生活支援や労働力不足支援のご依頼がたくさん来ています。これまでのように、高度の公共性・公益性の機能を発揮し、かつ、普遍性、中立性をもって応えなければなりません。

また、組織としとしても、公益法人認定法に基づく 手続き（定時総会による書面作成と報告など）の執行など、避けて通れない運営上の事業があるため創意工夫を強いられています。

特に、令和2年度定時総会の開催につきましては、別途、各会員への案内通知をしますとともに、この「たより」でもお知らせしますが、この度の感染症拡大防止対策を図るため、特段のご理解とご協力を賜ることにいたしますので、よろしくお願い申し上げます。

1. 新会員の紹介

4月の入会者は女性の2名でした。今年度は「女性会員確保再強化年度」ですので、女性2名の加入は「こりゃあ、春先から縁起がよいねえ！」という結果でした。

結果、会員数は男性192人、女性96人で合計の288人は、平成20年度の298人に次ぎ近年の10年間で最も多い数になっています。

今年度も引き続き、「^{かみいんひとりいちがいん}会員一人一会員確保運動」を実施し、紹介された会員には報奨制度（チップソー又は押指定ごみ袋進呈）がありますので、積極的な勧誘をお願いします。

《4月新規入会者》

お二人とも会員一人一会員確保ケースでしたので、一緒にお知らせします。



新規会員					紹介会員	
No	氏名	地域班(公民会)	年齢	性別	氏名	地域班(公民会)
1	おかわ 小川 いづみ	湯田・時吉班(湯之元)	65	女	伊東 洋子	湯田・時吉班(湯之元)
2	よしなが えつこ 吉永 悦子	宮之城屋地2班(愛宕)	81	女	小椎八重 廣樹	宮之城屋地1班(城之口)

2. 5月の入会説明会

5月19日(火) 午前9時からセンター会議室で2時間程度です。『毎月第3火曜日』ということで周知啓発をお願いします。

仕事の内容によっては、入会即就業のケースもあります。また、入会費については「夫婦会員免除及び減額」の特典もありますので、友人・知人へ「静観是共のうえ」一緒に働きませんか！」とお誘いください。

◆夫婦会員入会費

- ・ 1年目、お1人は無料です。
- ・ 2年目以降 お1人は半額になります。



3. 令和2年度定時総会の開催について(特段のお願い)

定時総会及び会員互助会総会は、**5月30日(土)**、午前9時から宮之城ひまわり館で開催します。

各会員への案内通知にも記載しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、次のとおり限定した形での開催としますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

① 定款に「書面による議決権の行使」の規定の定めがないため、「議決権の代理行使委任状」を最大限に運用し、限定する会員の出席をもって開催します。

② 限定する出席会員は次のとおりとします。なお、限定する会員とは要出席を求めるもので、限定されない会員の出席を拒否するものではありませんが、今般の状況を鑑み、いただき議決権の代理行使委任状について、ご理解とご協力をお願いします。

《限定し出席をお願いする会員》※ 万障繰り合わせてのご出席をお願いします。

理事・監事／地域班長／安全適正就業推進委員／独自事業推進委員／広報委員／理事・監事候補者
選考委員会委員／新役員候補者／会員互助会幹事(重複がありますので実質48人となります。)

※ 会員互助会の総会における、5年以上在籍で80歳到達者への祝い品につきましては、別の機会にお渡ししますのでご了承ください。

4. 令和2年度入会費の取扱いについて

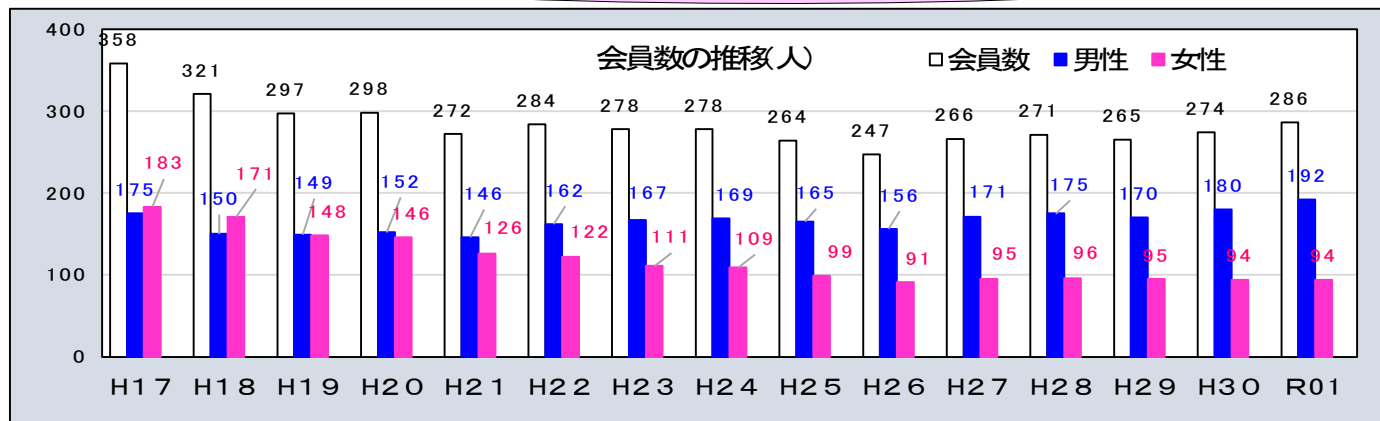
今年度の入会費は、大半の方は3月の地域班会の時に納めていただいています。

地域班会に欠席された方は未納となっていますので、定時総会時に徴収の予定でしたが、上記(3)の関係上欠席される方は、センターまでご持参のうえ納入をお願いします。

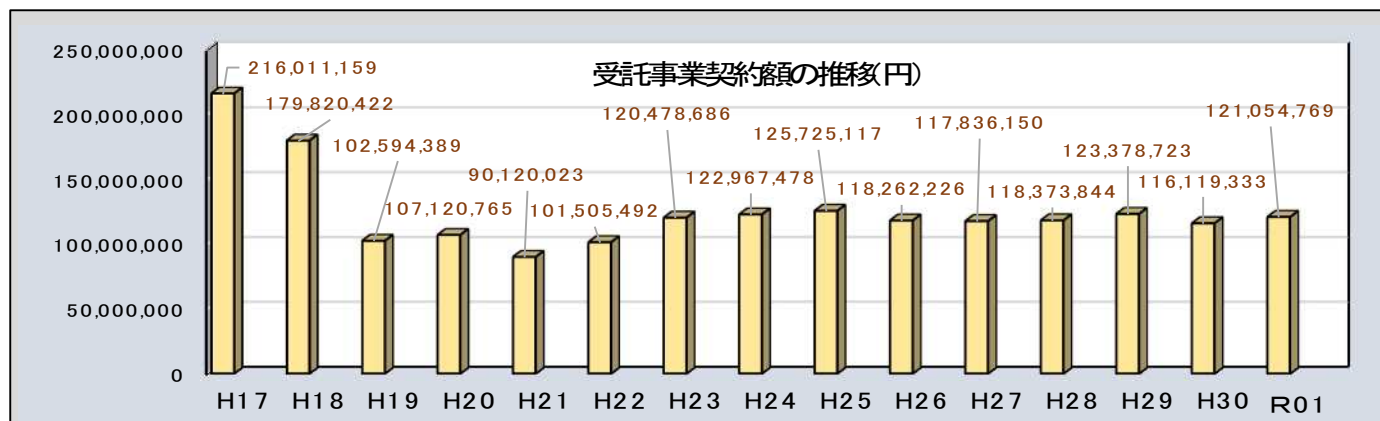
5. 令和元年度事業実績と統合合併後の推移

《会員数》

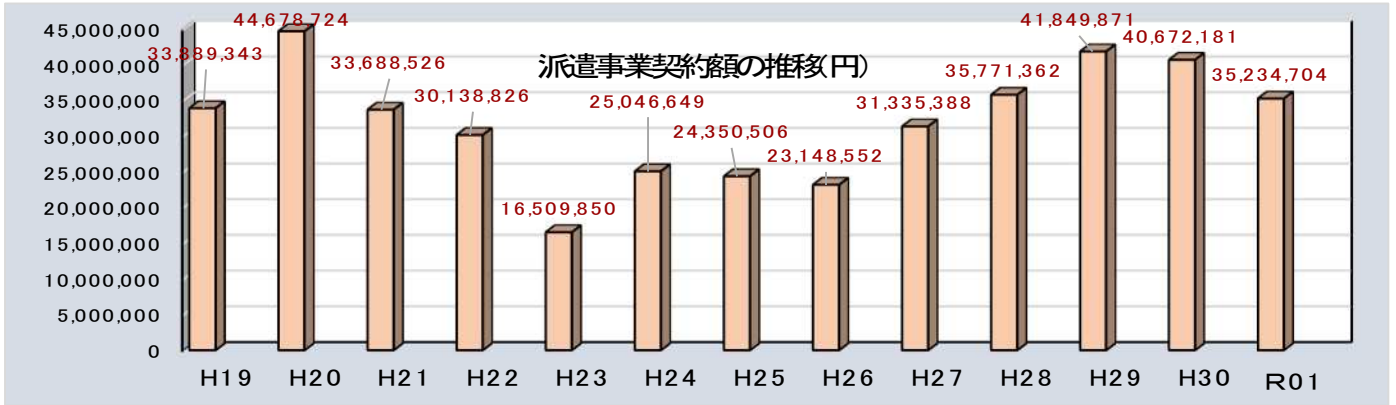
統合合併後、ベスト5の会員数になりました。もっと女性会員を増やしましょう！



《受託(請負・委任)事業契約額》

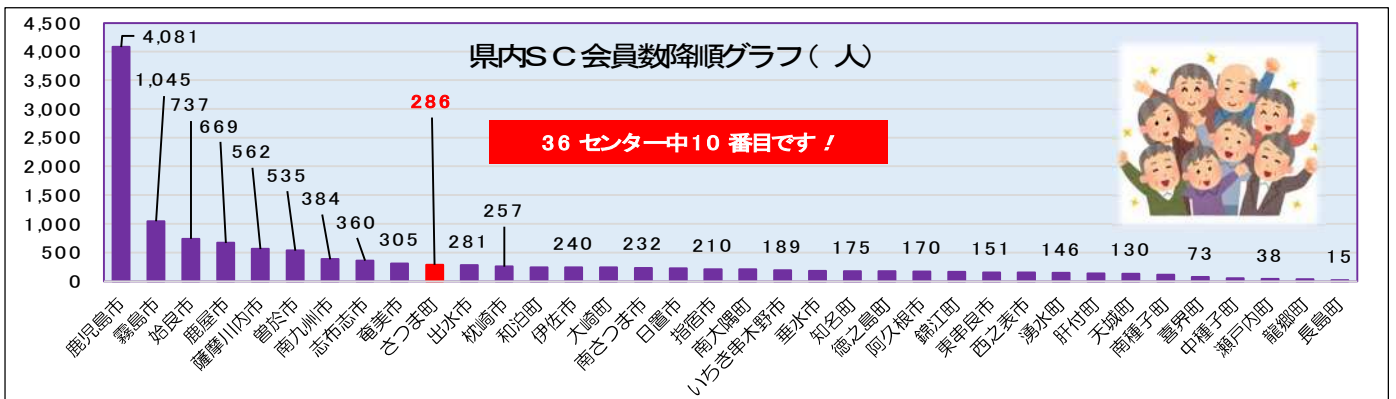


《派遣事業契約額》

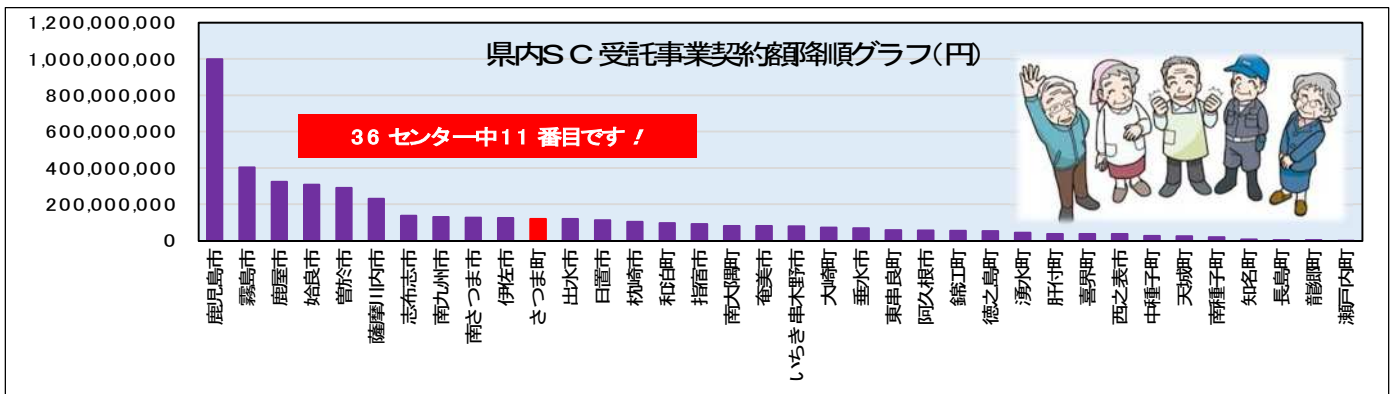


6. 令和元年度事業実績と県内における立ち位置

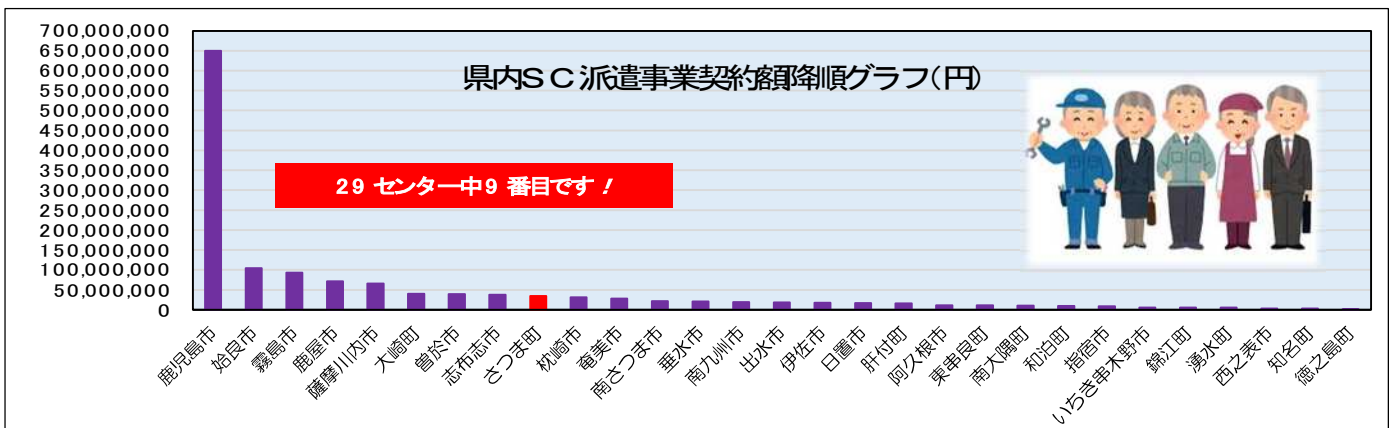
《会員数》



《受託請負・委任事業契約額》



《派遣事業契約額》



県内のSCは36 センターあります。すべてのセンターが受託事業を、うち、29 センターが派遣事業を実施しています。「ベスト10」という評価があります。当センターは会員数を含め両事業とも該当ラインに位置しています。自治体規模が基盤となる中、自画自賛ではありますが、当センターは「町」レベルながら良好な位置にいると評価できます。これも286人の会員の皆さんの献身的なご努力の賜物です。感謝！

7. 令和2年度安全適正就業スローガン決定！

平成30年度から、当センター独自のスローガンを選定し、作者の表彰と年度を通じた作品の掲出と活用により安全就業を推進しています。今年度のスローガンは、次のとおり決まりました。暗唱されまして、自分の就業体制の一部として安全就業の確保につないでください。また、就業前のミーティングや安全確認チェック時において、全員による暗唱や確認事項として取り入れて意識啓発を図ってください。



令和2年度安全適正就業スローガン 『事故ゼロの意識を持って ワンチーム』

作者 下牧瀬 秀司 会員(湯田・時吉班)

8. 行事等のお知らせ

年度初めにつき各種委員会等の会議が続きます。ご多用の中、また、徐々に就業機会が増えつつありますが、関係会員におきましては、繰り合わせてのご出席、よろしくお願いします。

日 時	行 事 内 容	備 考
5月13日(水) 15:00～	会員互助会幹事会	センター
14日(木) 15:00～	第1回地域班長・副班長会	センター
15日(金) 13:30～	第1回安全パトロール、山神祭	現場、センター
19日(火) 9:00～	第2回入会説明会	センター
22日(金) 15:00～	第1回広報委員会	センター
30日(土) 9:00～	令和2年度定時総会、会員互助会総会	宮之城ひまわり館

9. 驚きと光栄、意義あるビッグ・ニュースです！

“全シ協の取組み状況聴取に当センター訪問決定！”

4月27日(月)に突然のニュースが飛び込んできました。全国シルバー人材センター事業協会の業務部長と指導一課長が当センターを訪問されるという驚きと光栄なニュースです。



未だに興奮気味でうまく説明が付きませんので、下記のとおり箇条書きで整理してお知らせします。

① 全シ協の来県・来所の理由と今回の計画	<ul style="list-style-type: none">全シ協が3年に1回実施している都道府県連合会の定期指導が、今年度は鹿児島県シルバー人材センター連合会(県シ連)が対象。前回は、1日目に県シ連の定期指導、2日目に拠点センターを一堂に会しての集合指導。今回は、集合指導は取止めて、個別の拠点センターの取組み状況の聴取の計画。
② 当センター訪問の理由	<ul style="list-style-type: none">全シ協が県シ連の定期指導に併せて、拠点センターを訪問して、他のセンターの参考となる具体的な取組み事例を収集するため。収集対象となる事例 戦略的な取組による会員数の増加又は女性会員数の増加／女性会員・役職員の活動等が活発／全シ協の重点事業に対する活動が活発／80歳以上の高齢会員の就業機会が豊富／特色のある独自事業／その他、全国センターの参考となる独自の取組み以上に基づいて、県シ連が幾つかのセンターを推薦したところ、鹿児島市、伊佐市、さつま町の3センターが選ばれました。びっくり！(・_・)
③ 訪問日程	8月4日(火)、10:00～12:00
④ 訪問者	全シ協石原業務部長、小泉指導一課長
⑤ 現在の心境	全シ協の最も中心的で重要な役職である業務部長が、小さな町の小規模センターを訪問するというあり得ないことが起きてしまったという衝撃的な事実をいまだに信じられません。 驚きが光栄と感激、そしてプレッシャーに変わりつつありますが、今回の貴重な時間と体験、二度とない機会を当センターの運営と発展に如何に活かそうかと考えています。

10. あなたができる新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

3つの密、「密閉空間」、「密集場所」、「密接場所」を避けましょう。

3つの条件は、“ぎゅうぎゅう”(手の届くところに大勢の人)、“むんむん”(密閉空間で換気が悪い)、“かやかや”(近距離で会話や発声)ですので、注意してください。※毎朝夕の検温は安心感が高まります。

また、感染症対策専門家会議から「新しい生活様式」の提言がありました。外出・人の関係・移動・生活・買い物・スポーツ・公共交通機関・食事・働き方に関して事細かな具体策が示されました。

個人で取組めることですので、会員の皆さんも意識してみてください。